

広報

ただみ

7

2015 月号

No. 542
平成27年7月10日

只見ユネスコエコパーク

登録1周年を迎えて……………2～3

4年ぶりの山開き～会津朝日岳～……………4～5

只見雪むろまつり／南会津地方育樹祭

「いただきます。ふくしまさん」事業 ほか……6～7

町の話

只見剣道スポーツ少年団 団体戦優勝／

只見湖岸健康マラソン大会 ほか……………8～9

今月の表紙

6月25日、朝日小学校でプール開きが行われました。まだ少し水は冷たかったですが、久々のプールに子ども達は大はしゃぎ！

プールがとても楽しかったのか先生が終わりを告げると、「もう終わっちゃうの？」と少し物足りなさそうな感じでした。



只見ユネスコエコパーク登録 1周年を迎えて

～これまでの取り組みと今後の方針について～

只見町長(只見ユネスコエコパーク推進協議会長)
目黒 吉久

去る6月12日、只見地域はユネスコMAB計画における生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)の登録から1周年を迎えました。只見町は、このユネスコの国際的な取り組みの中で、「只見地域の豪雪に育まれた自然と生活・文化を守り、活かす」地域づくりを進めています。

この1年の取り組みと今後の進め方を紹介します。

■ユネスコエコパーク推進にあたっての基本的な考え方

過疎・高齢化が進む只見町ですが、その地域社会の将来の維持・発展のためには、只見地域の豪雪に育まれた自然と生活・文化を守り、産業振興を図りながら、持続可能な地域社会を創っていくことが重要です。只見町は、そうした地道な地域づくりを具体化するための制度的枠組みとしてユネスコエコパークを活用しようとしています。そうした意味でユネスコエコパークは、登録による観光客の増加など“賞味期限付き”の一時的な変化を期待するものではなく、確かな地域づくりを目指した自発的、独創的事業を長期に積み重ねていくことが重要と考えています。

■ユネスコエコパーク登録の意味

只見地域のユネスコエコパークの登録は、当地域の豊かな自然環境とそこに育まれた伝統的な生活・文化がユネスコに認められるという国際的な評価であることは言うまでもありません。一方で、地域住民や関係者の皆様がそうした価値を継承・発展させ、自然と人間活動の調和を実現するというユネスコエコパークの理念・目的を実践することが求められています。また、そうした成果を国内外に広く情報提供するなど、国内外のユネスコエコパークと連携・協力し、ユネスコのMAB計画に貢献していくという義務も生じていることを忘れてはなりません。

■推進体制の整備と只見ユネスコエコパーク管理運営計画の策定

登録からこの一年の間、只見町は、ユネスコエコパーク推進のための中核組織となる「只見ユネスコエコパーク推進協議会」を関係24団体で発足させ、また、その中に学識経験者からなる諮問機関「只見ユネスコエコパーク支援委員会」を組織するなど、只見ユネスコエコパーク活動の推進のための体制整備に努めてきました。また、推進協議会は、今年2月に、今後10年間の只見ユネスコエコパーク活動の指針となる「只見ユネスコエコパーク管理運営計画」を策定しました。

■ユネスコエコパーク関連事業の実施

只見町は、「只見町ブナセンター」を只見ユネスコエコパークを推進するための中心組織として位置付け、その理念・目的を具体的に実現するため関連事業を実施しています。その主なものは、以下になります。

- ①自然環境の保護・保全：ナラ枯れ対策事業、湿原の保護・保全事業、
「ただみ・観察の森」の整備
- ②学術調査研究・人材育成：「自然首都・只見」学術調査助成事業、自然環境基礎調査
(昆虫相調査)、ユネスコスクールへの支援
- ③地 域 振 興：「自然首都・只見」伝承産品ブランド化支援事業、町公認ガイドの育成
(エコツーリズム・グリーンツーリズムの推進)



①自然環境の保護・保全
巨樹・巨木の保全
(ナラ枯れ防除作業)



②学術調査研究・人材育成
伊南川の淡水魚類相調査
(アクアマリンふくしま、西部非出資
漁業協同組合と共同実施)



③地域振興
「自然首都・只見」伝承産品ブランド化
支援事業(町内業者・団体等による只
見産原の料や伝統技術を使用した産
品の開発や技術伝承を支援)

■今後の課題と取り組み

只見ユネスコエコパークを推進するための只見町の当面の課題は、「只見ユネスコエコパーク管理運営計画」に基づき、今後10年間に只見町が取り組むべき「只見町ユネスコエコパーク推進行動計画(仮)」を策定し、計画された関連事業を確実に実施していくことです。そのためには、ユネスコエコパーク、そしてその関連事業に対する町民、関係者の皆様の理解と協力、協働が不可欠です。さらに、只見町としては、町民の皆様の自主的で長期の地道な取り組みにも大いに期待をしております。そのために引き続き、只見ユネスコエコパークの啓発・普及により一層努め、また、地域住民や関係者の皆様の自主的で主体的な只見ユネスコエコパーク推進のための活動に対して最大限の支援と協力を行っていきたいと考えております。

只見ユネスコエコパーク登録1周年記念事業 — 檜枝岐歌舞伎の上演 —

只見ユネスコエコパークの一部である檜枝岐村と共にユネスコエコパークを推進する協働の事業として、地域の伝統芸能である檜枝岐歌舞伎を迎え、上演を行う予定です。

日時：平成27年11月14日(土) (上演開始時間は未定)

場所：只見小学校体育館



▼登山口に着くと一斉に山頂を目指して歩きはじめましたが、登山直前に雨が降りはじめ、足ともめかるみました



登山口付近

6:30



只見中学校
5:30

▲写真は朝早くからシャトルバスを待つ登山者の皆さん。予想以上に多くの方にお越しいただき、8台のバスで2回に分けて皆さんを登山口まで送りました

4年ぶりの山開きに550名!

会津朝日岳

6月14日、豪雨災害から4年ぶりに会津朝日岳(1624m)の山開きが行われました。

今回の山開きは、本当に多くの登山者が待ち望んでおり、登山口まで運行するシャトルバスの発着所である只見中学校には、午前5時過ぎで約250名の登山者が集まり、6時頃にはその数は倍の500名を超え普段では考えられないくらい人であふれていました。シャトルバスの中で登山者の方と話す機会があり話を伺うと、その方は東京から朝日岳を登山するために来られたとの事で、この日をとっても楽しみにしていたそうです。

登山口に着くと皆さんそれぞれのペースで山頂を目指し登り始めました。狭い登山道では互いにあいさつや声を掛け合い励まし合って山頂を目指したのが印象的でした。つづら折りの山道などを約2時間歩くと景色も開け始め、次第に素晴らし景色が見えるようになり、登山者の表情には笑みも浮かび山頂へとさらに歩みを進めていきました。

今回取材をしながら登山をしましたが、約7時間かかりました。下山時には足も痛くなり簡単に登れる山ではないと思いましたが、多くの登山者の方に「来て良かった」と言わせる山なので、ぜひ一度は登山をして欲しい只見の山です。



山頂
10:45

▼景色を眺めようと、多くの登山者の皆さんで山頂は常に人でいっぱい状態でした



▲会津朝日岳の山頂です!晴れてはいましたが雲が少しかかり素晴らしい景色を見れなかったのが少し残念でした

8:30 人見の松付近



▲つづら折りの山道を抜け、岩場の道が出てきました。滑りやすい所もあり登山用ストックを使い一步一步着実に登ります



荒秃沢付近

7:00

▲細い登山道を一列になり、もくもくと歩き続けると次第に雨も止んできました

9:00

叶の高手付近



▲2時間以上登ってようやく景色が見えるようになりました。素晴らしい眺めで山頂へ向かう力が湧きます！

10:15

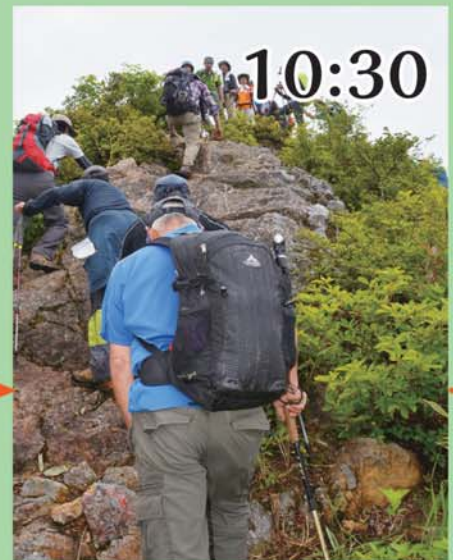


▲雪渓はスタッフの皆さんが階段を作ってくれ、とても登りやすかったのですが…

下から雪渓を見ると、こんなに急なんです！
ここも慎重に登ります!!



10:30



▲雪渓を登り、この岩場を登れば頂上はすぐそこですが、人が多いので非常に混みあいました

3カ月貯蔵した米や野菜をふるまいました！ 只見雪むろまつり



▲この日走った臨時列車「只見山菜満喫号」を手をふってお出迎え!



▲雪むろに貯蔵した餅米で来場者が餅つきをしました



▲「ふるまい」は多くの来場者が美味しいと言ってくれました

6月21日、JR只見駅前広場を会場に只見雪むろまつりが行われました。この雪むろまつりは、只見雪むろ実行委員会の主催で、今年初めて行った只見の雪を使ったイベントです。雪むろの中で3カ月貯蔵した加工品や野菜などを来場者にふるまうと、「美味しい」「野菜が甘くなっている」など好評でした。ふるまいのほか、餅つきや大道芸、三条市凧協会の皆さんによる凧上げなどの催しもあり、子どもから大人まで楽しめた只見の雪を利用したイベントとなりました。



▲食べながら給食食材についての話を聞く子ども達

地元食材を使った給食 「いただきます。ふくしまさん」事業

当日の献立

- 発芽玄米ごはん
- 牛乳
- うるいのみそ汁
- 会津地鶏のはちみつマトソース
- アスパラサラダ
- 完熟パイン冷凍

給食の献立は、只見町学校給食センターのフェイスブックで毎日紹介していますのでご覧下さい。

6月25日、「いただきます。ふくしまさん」事業を利用した給食が朝日小学校で提供されました。この事業は、福島県教育委員会が食育の推進などを目的に行っている事業で、昨年度から各学校でこの事業を利用した給食が提供されています。この日の給食には、上野忍さんの「うるい」や目黒義行さんの「アスパラガス」が使われ、うるいを食べた事のない子は「美味しい」と言って残さずに食べていました。



▲苗木が傷つかないように丁寧に植えました

6月3日、大倉地内にある比良林公園で平成27年度南会津地方育樹祭が行われました。この育樹祭は只見町、只見町緑化推進委員会、南会津地方緑化推進委員会の主催で、町内3小学校の児童と田島第二小学校緑の少年団など約150名が参加しました。

参加した児童たちは、スコップで穴を掘り、コブシとイロハモミジの苗木計50本を関係者の皆さんと一緒に植える作業を行いました。

豊かな森林を次の世代に伝える 南会津地方育樹祭

【豊かな森林を次の世代に伝える】



▲緊張しながらもパンフレットを配る明和小学校の児童

6月10～12日に町内の3小学校の6年生は東京方面へ修学旅行に行きましたが、その修学旅行の中でそれぞれの学校が只見町をPRする活動を行いました。

只見町をPRするパンフレットを作り、宿泊したホテルに置かせてもらったり、直接配ったりもしました。明和小学校の児童は、上野公園で60部ものパンフレットを配り只見町の良さを多くの方にPRしてくれました。

小学校の修学旅行で 只見町をPR

【小学校の修学旅行で】



▲渡部先生の指示で実際に手を動かす受講者の皆さん

6月17日、朝日振興センターで放課後子ども教室の合同スタッフ研修会が行われました。講師を南会津教育事務所の渡部学先生が務め、子どもへの接し方などについて話されました。

研修会では、子ども達は大人とは違うのであまいな表現をせずに具体的な指示をすることや、子ども達が楽しめるゲームを実際にスタッフが体験するなど、短い時間でしたが充実した研修会となりました。

子どもへの接し方を学ぶ 放課後子ども教室スタッフ研修会

【子どもへの接し方を学ぶ】



▲目黒町長へ寄付を渡す新國さん

6月9日、役場本庁を只見町出身で会津若松市在住の新國ツギ子さんが訪れ、子ども達の教育充実のために使って欲しいと5万円を只見町に寄付されました。

新國さんは今年の3月に満百歳を迎えられ、短歌や旅行、編み物など様々な趣味を持ち、短歌は短歌集の自費出版もされています。

このたびは、多大なご厚意ありがとうございました。これからも元氣でお過ごしください。

新國ツギ子さん(只見町出身) 5万円を町に寄付

【新國ツギ子さん(只見町出身)】



只見剣道スポーツ少年団 団体戦優勝！ 個人戦も好成績！！

6月13日に行われた南会津郡スポーツ少年団剣道大会で、只見スポーツ少年団が見事団体戦で優勝しました。また、翌日の6月14日に行われた第32回櫻木旗争奪少年剣道大会では、個人戦で新國太陽君が優勝、馬場菊さんが第3位と好成績を残しました。

団体戦で優勝した只見スポーツ少年団は、8月2日に郡山市で開催される県大会に出場します。県大会でも好成績を残せるよう皆さん頑張ってください！



▲優勝を記念して一枚！

◀週3回只見小学校の体育館で練習に励んでいます

只見湖岸をマイペースで走る 第27回只見湖岸 健康マラソン大会

6月14日、第27回只見湖岸健康マラソン大会が行われ、小学生から大人まで約90名が参加しました。大会は昨年同様2キロ、4キロ、8キロのコースが用意され、参加者は只見の新緑の中をそれぞれ一生懸命に走り気持ちの良い汗をかいていたようでした。



▲スタートする親子ペアの部

ふざわの思い出を1冊の写真集に 思い出の写真集 出版記念式典

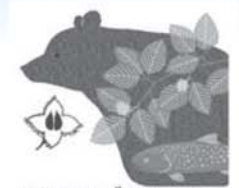
「ふざわ楽しさと元気づくりのみんなの会」が、町の「自ら考え自ら実践するまちづくり事業」を活用して出版した「思い出の写真集」出版記念式典が6月6日に布沢集会施設で行われました。写真集には以前あった分校の様子や、行事の様子などの貴重な写真が掲載されており、ふざわの思い出を後世に残す貴重な1冊になっています。



▲完成した写真集を手に記念撮影

只見町の地面を感じる！

ブナセンター講座と自然観察会



只見町ブナセンター

6月20・21日の2日間で、地質に関するブナセンター講座と自然観察会を行いました。地質学と火山学が専門の山元孝広先生(産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門)を招き、只見の地質について解説していただきました。

6月20日(土) 「奥会津の地質にみる日本列島の成り立ち」

講座には26名が参加され、県外からもたくさんの方が来られていました。只見を代表する景観の1つの雪食地形は日本海形成時代にできた窪地にたまった堆積層が削られてできたそうです。また、奥会津にも阿蘇山のようなカルデラがあります。それは塔のへつりや奥鬼怒です。このことから奥会津でも大規模な火山噴火があったことがわかります。その他には、産

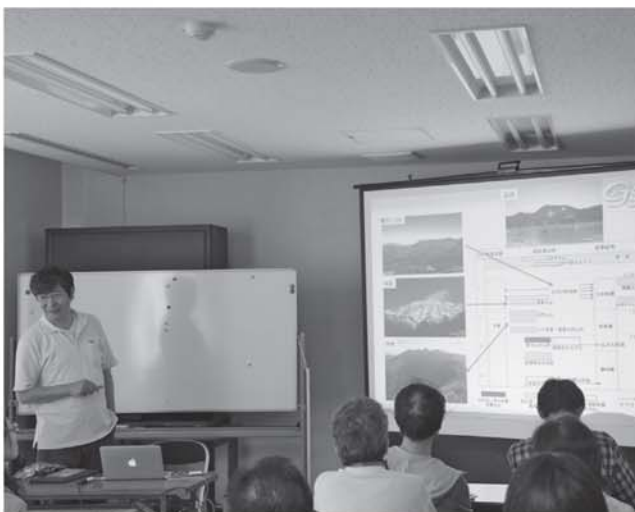
総研が公開しているウェブデータベースの地質Naviの使い方も教えていただきました。地質Naviでは地質だけではなく活断層や火山、その土地の自然放射線量なども調べられますので、気になった方はパソコンで自分の地域の地質・岩石について調べてみるものいいかもしれませんね。

6月21日(日) 「只見の地質を観察しよう」

地質の観察会には、12名の方に参加いただきました。天候が少し心配でしたが、何とか崩れる前には観察会を無事行うことができました。町内の4ヵ所を周り、各場所の地質の特徴や成り立ちについて解説をしていただきました。

まずは叶津の只見川と叶津川の合流地点で、只見町が湖の底にあった時代に堆積した地質や氷河期に作られた河岸段丘^{かかんだんきゅう}を観察しました。河原での堆積した

地質の観察の際には、その当時に埋没した樹木の化石を見ることもできました。その後、塩ノ岐のジュラ紀の地質や恵みの森(大倉沢)にて川底の岩盤の観察を行いました。普段何気なくみている岩肌や川底を、専門家の解説を通して観察することで、只見町の地質の秘密やその古い成り立ちを感じることができた観察会となりました。



▲地質の形成年を説明される山元先生



▲河原での堆積した地質の観察

こちらのページは肖像権の都合により削除いたしました

町史

とっておきの話

252

東洋大学講師

久野 俊彦

国内で三番目に古い写本

只見本『実語教・童子教』

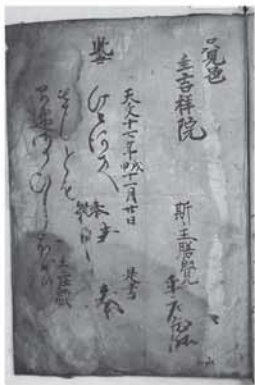
吉祥院に伝来した
中世写本

修験道のホウインは、村の子どもたちに読み書きの手習いを教えまくった。そのため、手習いの教育書が多数残されています。その中でも、吉祥院（新町・五十嵐義博家）に伝来した『実語教童子教』には、「天文十七年戊申十一月廿日 是書」（二五四八年）という書写奥書があり、中世写本として注目されます。『実語教』は、「玉磨かざれば光なし」という言葉で知られる教訓書で、平安時代末期に成立しました。『童子教』の中の言葉では、「郷に入りては郷にしたがえ」が有名で、こちらは鎌倉時代中期以前の成立とされます。両書とも子どもに教える短い教訓的な言葉を集めた書物で、漢文で書かれています。中世・近世・明治初期にかけて、教訓書として普及し、これを書写したり、暗唱したりしました。別々のものだった『実語教』と『童子教』は、一つ

ツトで教育に用いられ、江戸時代には版本で多量に流通しましたが、江戸時代以前の中世の写本はきわめて少ないです。最古の『実語教』の写本は、文明十二年（四七九）に書写した『実語教童子教』（謙堂文



▶『実語教』の巻頭部分



▶『実語教』の奥書部分

庫蔵）で、次いで明応六年（四九七）書写の『実語教童子教』（東洋文庫蔵）があります。『童子教』の写本は、永和三年（三三七）書写の『童子教』（石井積翠軒文庫旧蔵）が最古の写本です。吉祥院の『実語教童子教』は、『実語教』『童子教』

の二つがそろった写本では、国内三番目の古写本となります。

吉祥院に伝来した只見本『実語教・童子教』は、当地で書写されたためか、書写する時の誤りや脱落がみられますが、落丁はなく、返り点と送り仮名が付いているので、中世における『実語教・童子教』の読み方がわかり貴重です。

村人が使い続けた書物

表紙と見返しには、「海老作□女、只見邑 吉祥院、斯主膳覚、五十嵐庄蔵」という持ち主の名の書き込みがあります。海老作は五十嵐家の屋号であり、これらは吉祥院（五十嵐家）の人物の書き込みです。また、「此書、何方へ遣シ申候とて、其後二者私方へ御かいし可被下候」という文が書かれています。この書物を持ち主に必ず返してほしいという意味ですが、持ち主は、これを門外不出としたのではなく、村人に貸し出していったということなのです。借り出した村人は、必ず返したからこそ、五十嵐家に伝えられました。この書物は、只見の村落の中であって、戦国時代から江戸時代末期までの約

三百年間にわたって、大切に利用され続けました。只見の村落が、中世から近世・近代に至る持続社会であったことを、書物の手擦れの跡が立証しています。

只見本の読み方による『実語教』『童子教』

吉祥院に伝来する『実語教・童子教』は只見に残った只見本といえます。その中から有名な節をご紹介します。

『実語教』山高き故に貴からず。木有るを以て貴しとす。人肥か故に貴からず。智有るを以て貴しとす。（山は高いから価値があるからではない。そこに木々があるから価値があるのだ。人は裕福だから偉いのではない。智恵があるから偉いのだ）

『童子教』国に入りては俗を問へ。郷に入ては郷に随へ。（中略）一日に字を習へば、三百六十字。一字千金に当たれり。（よその地に行ったからその習慣を知りなさい。そこではそのやり方にしがたいなさい。一日に字を習うと、一年で三百六十字を習う。一字は千金に相当する）



町民文芸

只見短歌会

五月詠草

大塚栄一

指導

花壇にと買ひ来し肥料を病みあとの夫運びみて又もよろめく

古川 英子

風の道なす国道ぞ横切れば吹雪に巻かれ立竦みたり

小倉キミ子

雪消えし畑の土手の鼠穴駆除の薬剤入れつつ巡る

渡部ゆき子

あの家もこの家も子ら巣立ちゆき我が住む集落過疎進むなり

馬場 八智

良き楽の聞こゆる道路の設けられ安全速度を守りて走る

新国由紀子

雪残る道に桜の花びらは低き所に溜りて吹かる

関谷登美子

日盛りに出で行く夫に手押しにて直せるシャツの皺が目にとつ

目黒 富子

残雪の多き年なればやうやくに植ゑたる稲の伸び目にたたず

渡部ヨリ子

つね荒く物言ふ娘飼猫にも声を落とさず叱る時あり

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

六月例会

目黒十一

指導

手ざわりと色は脳裏に毛虫焼く

恒 夫

風に乗る毛虫の群や声あがる

遠目にも青嶺を削る雪食嶺

吉 児

万緑や濃霧生まるる只見川

礼

たつぶりの粒餡うれし蓬餅

古郷の姿の見ゆる笹ちまき
山焼きて蕨育てる村に老い

邦 男

母の日やウエスト測る試着室

順 子

すぐに止む山の雨なり蛇の殻

思い出す走れメロスや桜桃忌
立ち止まり今年も聞くや揚げ雲雀

信

新緑の幾重の壁画つづら折り

修 一

酒米の田植え挑戦女子高生

機械音喧騒止みて田植時
鷺の巣や夜なくに鳴く背戸の山

リウコ

整列し植田見守る村の墓

一 穂

遠山に残雪見ゆる梅雨入かな

敦 子

田草取る土手のグミの実熟れし頃
頬被りの娘がひとり畔草刈

ぶな若葉宿題詰め込むランドセル
「ただいま」と「おかえり」を待つ桜餅

都

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係 町民係	☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

税 今月の納期

7月27日までに

納めましょう

- 固定資産税(2期)
- 国民健康保険税(1期)
- 農集排使用料(7月分)
- 介護保険料(1期)

試験

平成28年度只見町職員
(高校卒程度・一般事務職)
(資格免許職・看護師)
採用候補者試験

只見町職員採用候補者試験を次のとおり行います。

一般事務職	若干名
看護師	若干名

● 試験職種・採用予定人員

● 受験資格(学歴不問)

一般事務職は、昭和50年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者。

看護師は、昭和50年4月2日以降に生まれた者で、免許を有するか平成28年3月までに取得の見込みの者。

● 試験の方法

- 一般事務職 高校卒程度
- 看護師 短大卒程度

① 第1次試験

教養試験および専門試験(看護師のみ)、一般性格診断検査、職場適応性検査を行います。

② 第2次試験

1次試験合格者に対して、小論文、面接による試験を行います。

● 試験の期日・会場

【第1次試験】

9月20日(日)午前9時受付

【会場】

〔一般事務職〕

福島県立田島高等学校

(南会津町田島字田部原260)

〔看護師〕

ふくしま中町会館

(福島市中町7-17)

● 受験手続き

申込用紙は役場総務課および朝日、明和振興センターで交付します。必要事項を記入の上、提出してください。郵送により申込用紙を請求する場合は、総務課までお問い合わせください。

● 受付期間
8月14日(金)まで

※郵送による提出の場合は、8月12日(水)までの消印のあるものに限りま。

この試験に関して不明な点は、総務課職員係までお問い合わせください。

● 問い合わせ先

総務課 職員係

☎ 0241(82)5210

南会津地方広域市町村圏組合職員採用候補者試験(消防職員)

南会津地方広域市町村圏組合職員採用候補者試験を次のとおり行います。

● 試験職種・採用予定人員

消防職員 若干名

● 受験資格

① 日本国籍を有する者。
② 地方公務員法第16条(欠格条項)に該当しない者。
③ 昭和63年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)。
④ 普通自動車運転免許(AT限定免許を除く)の取得者または取得見込者。

● 試験の方法
① 第1次試験
教養試験(高校卒程度)および適性検査を行います。

② 第2次試験
1次試験合格者に対して、個別面接および作文試験、体力測定、身体検査を行います。

● 試験の期日・会場

【第1次試験】

9月20日(日)午前9時受付

【会場】

この試験に関して不明な点は、南会津地方広域市町村圏組合事務局までお問い合わせください。

● 問い合わせ先

南会津地方広域市町村圏組合事務局

☎ 0241(62)0054

「学生等の皆さんへ」 ふくしま大卒等合同就職 面接会を開催します

平成28年3月新規大学等を卒業予定の方、平成25年3月以降に大学等を卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。

●開催日等

8月6日(木)

「若者応援宣言企業」を中心に

県内企業250社が参加予定

●実施内容

事業所PRタイム 10時～12時45分

合同就職説明会 13時30分～16時

●会場

ビッグパレットふくしま(郡山市)

●お問い合わせ先

福島労働局職業安定課

☎024(529)5396

●主催

厚生労働省福島労働局(ハローワーク)、

新卒応援ハローワーク、福島県

●その他

①事前申込不要、お気軽にお越しください。

②参加事業所は開催1週間前までに、福島

県労働局ホームページ上で公開します。

③事業所のブースにおける人事担当者の事

業・職務内容の説明、採用計画等の求人情

報提供、ハローワーク等各機関による職業

相談・情報提供等を行います。

町長の手帳

町長スケジュール(6月分)

- 1日 南会津地方環境衛生組合管理者会(下郷町)
- 2日 福島県町村会総会、南会津広域圏組合管理者会、福島県鉄道活性化対策協議会総会(福島市)
- 3日 南会津地方青樹祭、只見町議会全員協議会、6月補正予算町長査定、鈴木副知事との懇談、集落座談会(八木沢)
- 4日 自民党県議団意見聴取会、東邦中学農家民泊開村式、奥会津五町村活性化協議会総会、只見川電流域振興協議会総会(柳津町)
- 5日 ふくしま緑の森づくり公社総会、アドベンチャーキャンベン知事表敬訪問(福島市)、集落座談会(大倉)
- 6日 全日本バレーボール小学生会津大会、思い出と布沢の明日を語る会
- 7日 蒲生岳開山式、山の幸・山菜まつり(塩沢)
- 8日 議案検討庁議
- 9日 会津線等対策協議会総会(会津若松市)
- 10日 一般質問検討庁議
- 11日 鳥獣被害等対策協議会総会
- 12日 福島県森林・林業・緑化協会役員会・通常総会(福島市)、只見高校振興対策協議会総会
- 14日 会津朝日岳開山式、只見湖岸健康マラソン大会、「春よこい」試写会(金山町)
- 15日 只見町議会6月会議(～19日)
- 18日 農業委員辞令交付式
- 19日 集落座談会(上福井)
- 21日 西部女性のつどい、只見雪むろまつり
- 22日 南会津地方環境衛生組合議会(下郷町)、南会津地方広域圏組合臨時議会(南会津町)、集落座談会(熊倉)
- 23日 エコパーク・プロジェクトチーム辞令交付式、南会津地方継会懇親会、集落座談会(坂田)
- 24日 南会津郡町村長視察研修(～26日)
- 27日 民主党県連パーティー(福島市)
- 28日 JR東労組東京地本定期大会(郡山市)
- 29日 会津縦貫南道路整備促進地方要望(仙台市～郡山市)、集落座談会(石伏)
- 30日 町職員労働組合定期大会、集落座談会(楯戸)

「継続こそ力なり」

6月は蒲生岳、朝日岳、浅草岳と只見を代表する山々が山開きをしました。朝日岳は実に4年ぶりの山開きで、これまでの倍以上の登山者を迎えることができました。事故なく済んだのも準備を入念にすすめてくれた関係者の皆さんのおかげですが、朝日岳はエコパークの核心地域であり、保護・保全の観点から注意すべき点とルール遵守の誘導対応も今後しっかりと行っていく必要があります。

昨年6月12日のユネスコエコパーク登録から早くも1年が過ぎ、只見町議会6月会議は、地方創生がテーマとなっている中、エコパーク取り組みの評価と今後の取り組みを問われる会議となりました。自然首都・只見、ユネスコエコパークの認知度は県内、県外に着実に広がったと思います。昨年度はその理念に沿って事業を実施し、その成果を内外に発信しました。伝承産品開発も10組の方が取り組まれ、素敵な商品が生まれています。どれも只見の材料を使い、手作りで只見のおみやげ品として喜んでもらえるようにという思いの中で出来上がったものばかりです。私達にとってあたりまえと思っていたものが、魅力ある産品に生まれ変わる。自然の恵みを活かし先人達が創り上げてきた食・物・技術を受け継ぎ磨きあげていく人がいることが、ユネスコエコパークの真骨頂です。

小さなことを積み重ね、継続していくことがまさに只見に求められていることなのです。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(5月26日～6月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

横山 依央 (男/剛嗣・美沙子) 樫戸
 馬場 蒼介 (男/純・春美) 福井
 大竹 陽斗 (男/淳史・絵美子) 只見

■ご結婚おめでとうございます

蒲生 馬場 新樹♡武藤 知恵 郡山市
 只見 鈴木 靖和♡鈴木 佐知 田村市
 大倉 梁取 一樹♡齋藤 夕季 郡山市

■おくやみ申し上げます

湯田	イシ子	82歳	布	沢
渡部	トミ	94歳	長	浜
目黒	芳美	93歳	只	見
目黒	征一	76歳	只	見
上村	能一	73歳	只	見
渡部	ツルコ	88歳	小	川
渡部	幸雄	85歳	小	川
藁谷	義一	85歳	小	川
田村	久仁子	92歳	亀	岡
目黒	ハツノ	103歳	塩	沢
飯塚	壽男	78歳	黒	谷
横山	一三郎	97歳	大	倉
			榎	戸

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成27年6月1日現在

人口	4,487	(-10)
男	2,183	(-2)
女	2,304	(-8)
世帯数	1,796	(-5)
高齢化率	43.8%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 6 出生 0 死亡 9

あともがき

▽今年の東北南部の梅雨入りは6月26日頃で昨年より21日も遅かったとの事です。
 △近年の異常気象の影響で天気予報も昔より当たらなくなりました。夏になると日本各地でゲリラ豪雨のニュースが流れ、日本の天気はもう昔のようにはならないのか?と思います。昔は、季節の変わり目は天候が不安定になりましたが、季節が変われば比較的穏やかだったと記憶しています。
 ▽今年の夏は、「これぞ夏」という天気が続いて欲しいものです。
 (吉津)

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

生涯学習推進員
大東 由佳

朝日振興センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★本屋さんのダイアナ



柚木麻子/著(新潮社)

水商売のシングルマザーを母にもち、名前は「大穴」と書いて「ダイアナ」と読む金髪の少女ダイアナと、父は大手出版社勤務、母は料理家という良家に育った「彩子」がヒロインです。幼い頃、本が好きという共通の趣味で仲良しだった二人を、ある出来事が引き離すこととなります。自分自身の弱さに気づき、ありのままを受け入れ成長していく二人の物語です。

★かあちゃん取扱説明書



いとうみく/著
佐藤真紀子/絵(童心社)

「ぼくちで、一番いぼっているのはかあちゃんです。」と作文を書いた哲哉。それを読んだお父さんは、哲哉に「かあちゃんの手扱説明書を作ってみたらどうか」と提案します。哲哉はかあちゃんを観察して取扱説明書を作り始めます。
 児童書ですが、子どもも大人も楽しめる一冊です。

★ひまわり



荒井真紀/著(金の星社)

ひまわりの一生が丁寧に描かれた絵本です。ひまわりの秘密や、花の中の構造なども描かれていて、自由研究にもピッタリです。何よりも繊細で生き生きと描かれた美しい絵が印象的な絵本で、読んだ後はひまわりを育ててみたくなる一冊です。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。

ツキノワグマの春～夏 (学名: *Ursus thibetanus japonicus*)

[ネコ目 クマ科]



6月5日に考古館で目撃されたツキノワグマの足跡(赤丸)。このクマは、あぜ道を通り奥の林に逃げていったと思われます。

4～6月にかけて只見町では、人里でのツキノワグマの目撃が相次いでいます。この時期にこれほどツキノワグマが目撃されることは只見町でも珍しく、不安に思われる方もいると思います。それでは、この時期にツキノワグマはどのような生活を送っているのでしょうか？

4月になり雪解けが始まるとクマたちは徐々に冬眠から覚め、山を歩き始めます。冬眠から覚める順番は、オス、子供をもたないメス、仔連れメスの順と言われています。特に、仔連れメスは子供を他のクマに殺されることを警戒して、冬眠穴から出る時期も遅く、その後も冬眠穴の付近にとどまります。冬眠から

覚めたクマは、芽吹いた若葉や草本、この時期に咲くブナの花などを食べ始めます。開いたばかりの葉は柔らかいため、クマにとっても消化しやすく、葉が開くのが早いブナから開く順番に合わせて食べていきます。雪崩などで死んだシカなどの動物や地面に残っていた前年のドングリなどを食べるのもこの時期です。山全体の樹木の展葉が終わる5月末頃まで樹木の芽吹きや開花に合わせて食べられるものを食べていきます。6月頃になると食べ物のメニューに昆虫や木の実が加わり始めます。この頃からドングリが利用できる秋までは、クマにとっては食べ物が少ない時期らしく、栄養状態が低下し続けることが言われています。交尾期に入るのもこの時期で、親子以外は普段独りで暮らしているクマにとって、他のクマと一緒にいる唯一の時期なのです。そして、夏が終われば、いよいよクマたちが待ちに待ったドングリの季節がやって来ます。

この春～夏の時期は、秋に比べツキノワグマの出没は少ない時期ですが、北東北ではこの時期にも出没のピークがあることが言われています。山形や秋田といった積雪が多い地域では、この時期の出没の回数と雪解けのタイミングが関係している可能性が指摘されています。また、春先には前年に落ちたドングリを食べることがあるため、前年のドングリの成り具合も出没の回数と関係がある可能性があります。今年の只見町における春の出没の増加も、この冬に雪が多かったことや前年にブナが不作であったことが関係しているのかもしれませんが。

企画展示

「只見町のブナの森 -ブナの生態から利用まで-」

日 時：6月27日(土)～9月27日(日)

ブナセンター講座

「気候変動によって雪国の森はどのように変わっていくのか？」

日 時：8月1日(土)

自然観察会

「夏のブナ林を歩く！」 日 時：8月2日(日)

森林生態学や生物多様性科学がご専門の中静透先生(東北大学)を招き、「只見町のブナの森」講座と観察会を開催します。